

## ～特別委員会報告～

### 新体育館建設 特別委員会

本委員会は、9月定例会以降、10月26日、11月30日及び12月13日に委員会を開き、基本設計について、詳細な説明を聴取し、議論をしました。

その上で、実施設計の前提となる基本設計に向け、体育館の空調・照明等の設備、外装、仕上げ等の意匠について様々な視点から検討を行いました。

#### 照明について

新体育館内の照明については、まず法的な規制、個々の競技における条件等について説明を受け、LED等の光源、照明の配置等についてさらに詳細な説明の後検討を行いました。

光源の配置や数量、アリーナ部分の明るさ等について協議を行うと共に、当初の設置費や維持管理費、ランニングコストについても時間をかけて議論を行いました。

委員会として、今後の維持管理費、コストの低減が重要であるとの提案を行い、その設置方法や仕上げについては、体育館全体の利用方法や維持管理をも踏まえて、環境性も考慮し、L

ED方式の採用を前提といたしました。

事務所等についても以上の様な点を十分に配慮して設計するように求めました。

#### 空調について

空調についても設置の必要性をはじめ、方式、設置後の維持管理、ランニングコスト等について検討を行いました。

設置の必要性については、今後益々寒暖の差が大きくなる可能性があることや、多くの体育館で設置されていること、運動施設以外としての利用を図ることや、利用率の向上のために必要であるとの説明があり協議を行いました。

中でも、空調方式については、コスト等を明確にした上で、燃料や型式について検討を行いました。現状では環境性も考慮の上、電気式ヒートポンプ方式の導入を基本としたとの意見を受け協議を重ねました。委員会では、維持管理費の低減に努めるよう求め、空調設備の設置を前提として進めることを了承しました。

#### 意匠、配置等について

体育館の顔とも言うべき外壁については、現在アルミ材を用

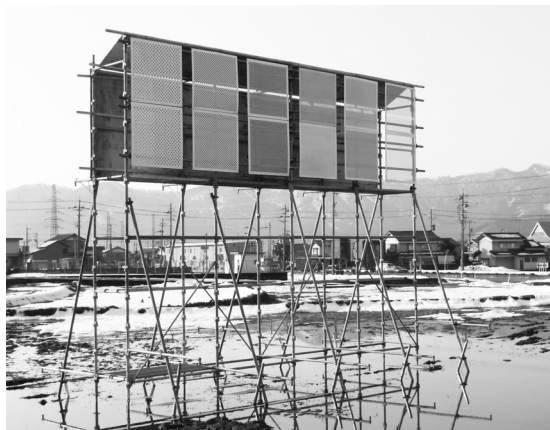
いた二重外装が提案され検討をしています。通常の外装とのメリット・デメリットを確認し、耐久性・耐候性等にも考慮して進めています。

また、トレーニングルームをはじめとする部屋の配置や面積にも多くの意見が出されており整理しています。

一方で、道路から駐車場、体育館への歩行者進入路についても協議が行われました。今後、理事者と共に問題点を整理し、よりよい計画となるよう議論を重ねてまいります。



体育館アリーナ内部イメージ図



建設予定地(昭和町2丁目)における外壁の着雪実験状況